

様式第 4 号の 2

り災申告書（車両・船舶・航空機・林野・その他）記載のしかた

（1 の欄）

1 関係区分は、り災物件と申告者との関係です。あてはまるものを○で囲んでください。

（2 の欄）

- 1 用途別は、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- 2 自動車登録番号の欄は、車検証等に記載された自動車登録番号又は車両番号を記入してください。

（3 の欄）

用途・機種は、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。

（4 の欄）

- 1 腰高直径は材積測定に用いるもので、概ね地面から 1.3 m の直径を計測してください。
- 2 部分・程度は主に焼けた部分（表皮のみ、枝、全部）を記入してください。

記入例

4	焼けた樹木名等	樹齢	胸高直径	本数・広さ等	部分・程度	その他
林野	松	20年	60cm	1本 a	枝が焼けた	
	杉	30年	70cm	10本 a	幹の下側が焼けた	
	牧草	1年		本 30a	すべて焼けた	牛の飼育用

（5 の欄）

- 1 その他の欄は、建物、車両、船舶、航空機及び林野の種別に該当しない火災です。たとえば、廃車、建物に取り付けられた看板、門、電柱、架線など
- 2 り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
- （1）焼：火災によって焼けた物品及び熱によって炭化、溶融、又は煙により汚れたものなど
- （2）消：消火のために受けた水損、破損、汚損など

(3) 爆：爆発により壊れたものなど

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した物件①件ごとに1枚を提出してください。
- 3 この申告書は、り災証明書を発行するために必要ですので出来るだけ早く提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 この申告書で分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

消防署 予防班

電 話 73-3151